

士別市農業・農村活性化審議会

日 時:令和5年2月20日(月)13:30~
場 所:士別市役所会議室 201-203

1.開 会

2.挨 拶

3.議 題

①令和4年度士別市農業奨励賞選考結果の報告(資料1)

②令和4年度農林業振興対策事業の主な事業実績と評価(資料2)

③令和5年度農林業振興対策事業の予算概要(資料3)

4.そ の 他

令和4年度 士別市農業奨励賞選考結果の報告

○選考委員会開催日：令和5年1月30日（月）

○選考委員：北ひびき農業協同組合、上川農業改良普及センター士別支所

北海道農業共済組合道央統括センター上川北支所、士別市農

業委員会

No.	氏名	年齢	地域	経営概要	推薦理由
1	沼舘 圭一	48	川西	【畑作+露地野菜】 そば 12.2ha 大豆 6.1ha 甜菜 5.7ha ブロッコリー 1.6ha その他 13.1ha 面積合計 38.7ha	就農後は、大豆とブロッコリーの作付けを始め、輪作体系の確立・経営の安定向上に取り組んでいる。 肥培管理などに力を入れており、自ら組織を立ち上げ、勉強会の開催などをして、収量増に努めている。 農協が開催する新規農業者向けの勉強会では、講師を務め、農業者の育成を図っている。
2	中村 光晶	57	朝日	【畑作】 大豆 6.0ha 秋まき小麦 5.9ha 食用馬鈴薯 4.4ha 甜菜 4.0ha その他 1.9ha 面積合計 22.2ha	平成21年に夫婦で士別市に移住し、朝日地区で農業研修を実施後、真摯に研修に取り組む姿が評価され、研修先地区の農家から農地などを譲り受け経営開始。 基本技術と適期作業を励行し、堆肥の投入など畑への還元も欠かさず、反収・品質は、地区の平均を上回っている。 野生動物による農業被害が多発しているため、自ら狩猟免許を取得して駆除にあたっている。

事業評価の考え方

資料2「令和4年度農林業振興対策事業の主な事業実績と評価」は、土別市農業・農村活性化計画（第4次計画）の12ページ以降に掲げている15項目の推進事項・50項目の主な取り組みについて、事業評価を行いました。

1. 評価項目

①主な取り組み

50項目にわたる主な取り組みに関する評価では、令和5年2月1日時点の事業実施状況を基に、担当課としての判断や今後に向けた課題、改善点等を踏まえ評価を行いました。

【評価区分】

- A評価 → 実施
- B評価 → 概ね実施
- C評価 → 一部実施
- D評価 → 未実施

②数値目標

「持続可能な生産体制の確立」を達成するための数値目標（4項目）では、実績値を基に評価を行いました。

2. その他

備考欄は、15項目の推進事項に関連事業について記載をしています。

第4次 士別市農業・農村活性化計画(令和4年度～令和7年度)における推進事項や主な取り組みに関する評価

資料2

項目	推進事項	主な取り組み《令和5年2月1日時点における実績又は見込み》	今後に向けた課題・改善点など	事業評価	備考 (主な関連事業)	
人づくり	1 担い手の確保・育成	① 新規就農者確保のための情報発信	①地域おこし協力隊制度を活用した農業研修者の募集 <ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊の募集活動を実施(農業支援員(耕種・酪農)、めん羊飼育) 募集パンフレットを作成し、市や農業公社のホームページで情報発信 ②就農相談会への参加や道内大学、農業公社等への訪問によるPR活動 <ul style="list-style-type: none"> 就農相談会へ参加(計3回 R4.12.17東京、R5.1.14東京、R5.2.4大阪) 北海道立農業大学校キャリアサポートへ参加(R4.6.3) 農業公社へ訪問しPR活動を実施(R5.1.23) ③市ホームページ等を活用した、農業研修者の受入や活動状況、士別市農業の魅力等の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 農業研修者や受入地区の紹介を市ホームページで情報発信 農業研修者の月間活動状況や年間研修結果報告を市ホームページで情報発信 ④関係機関等への研修活動状況の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 研修活動状況をJA、農業改良普及センター、農業委員等の関係機関へ情報発信 	本市農業の魅力を発信し、地域おこし協力隊に応募してもらえるよう、募集パンフレット等を適宜見直し募集活動を実施する。	A	・農業・農村担い手支援事業
			②農業研修者の受け入れと就農後の経営安定化 <ul style="list-style-type: none"> 就農相談会において、本市出展ブースの着席者が少なかったことから、参加する時期や場所等を検討する。 	A		
			③市ホームページ等を活用した、農業研修者の受入や活動状況、士別市農業の魅力等の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 農業研修者や受入地区の紹介を市ホームページで情報発信 農業研修者の月間活動状況や年間研修結果報告を市ホームページで情報発信 	引き続き市ホームページ等を活用し、農業研修者の受入や活動状況等を情報発信する。	A	
			④関係機関等への研修活動状況の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 研修活動状況をJA、農業改良普及センター、農業委員等の関係機関へ情報発信 	引き続き関係機関等へ研修活動状況を情報発信する。	A	
		② 農業研修者の受け入れと就農後の経営安定化	①農業研修者の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊 4名受入(上士別地区2名、多寄地区1名、朝日地区1名) 就農研修者 3名受入(北町地区1名、朝日地区2名) ②農業研修者の農業技術の習得状況等を関係機関と連携し定期的に確認 <ul style="list-style-type: none"> JA、農業改良普及センターと連携し、農業研修者及び主たる受入農家と定期面談を実施 ③農業者等との地区別意見交換会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 地区別意見交換会の開催(7地区 R4.11月～12月実施) 農業研修者の受入体制や活動状況等について説明 ④独立就農に向けた就農計画作成等の支援 <ul style="list-style-type: none"> 農業研修者の独立就農に向け、就農計画作成等の支援を実施(令和5年度独立就農予定 3名) ⑤国の事業(農業次世代人材投資事業等)や各種資金の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> 経営発展支援事業(機械・施設等の導入支援) 対象件数 1件 次世代人材投資資金(経営開始時の資金支援) 対象件数 3件 ⑥士別市農業農村担い手支援規則に基づく支援 <ul style="list-style-type: none"> 規則に基づく各種支援を実施 	引き続き士別市担い手支援協議会や各地区の受入農家協議会と連携を図り、農業研修者の受け入れに取り組む。	A	・農業・農村担い手支援事業 ・農業次世代人材投資事業
		②農業研修者の受け入れと就農後の経営安定化 <ul style="list-style-type: none"> 士別市担い手支援協議会や各地区の受入農家協議会等と連携を図り、地域おこし協力隊等の農業研修者の受け入れ、実践的な研修を通じた農業技術の習得、就農後の経営安定化に向けた各種資金の活用等、一体的な取り組みを推進します。 地区別意見交換会等を通じ、農業研修者の受け入れ意向について現状の把握に努め、新たな地区受入農家協議会の設立にあたっては関係機関と協力し支援します。 	農業研修者が作成する活動月報について、農業技術の習得状況等をより具体的に把握できるよう様式を見直す必要がある。	A		
		③農業者等との地区別意見交換会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 地区別意見交換会の開催(7地区 R4.11月～12月実施) 農業研修者の受入体制や活動状況等について説明 	今後も意見交換会等を通じ、農業研修者の受け入れ意向を把握し、新たな地区で受入農家協議会の設立にあたっては関係機関と協力し支援する。	A		
		④独立就農に向けた就農計画作成等の支援 <ul style="list-style-type: none"> 農業研修者の独立就農に向け、就農計画作成等の支援を実施(令和5年度独立就農予定 3名) 	引き続き独立就農を目指す農業研修者がいる場合、就農計画の作成等を支援する。	A		
		⑤国の事業(農業次世代人材投資事業等)や各種資金の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> 経営発展支援事業(機械・施設等の導入支援) 対象件数 1件 次世代人材投資資金(経営開始時の資金支援) 対象件数 3件 	引き続き就農直後の経営安定化を図るため、国の事業や各種資金の活用等を支援する。	A		
		⑥士別市農業農村担い手支援規則に基づく支援 <ul style="list-style-type: none"> 規則に基づく各種支援を実施 	引き続き農業の担い手の確保と育成を図るため、農業・農村担い手支援規則に基づき支援する。	A		
	③ 農業者青年層のパートナー確保に向けた取り組み	①関係機関と連携し出会いの場を創出 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年8月27日・28日に市内で1泊2日にて開催。(男性7名・女性13名) 3組がマッチング。 ・家族経営の一翼を担い地域コミュニティの維持を図るため、同世代の交流の輪を広げるとともに男女の出会いの場を創出します。	男性の参加人数が減少しているため、男性参加者の募集周知方法の改善を図る。	A	・グリーンパートナー推進事業	
2 労働力の確保	① 労働力確保・支援に向けた取り組み	①農業者等との意見交換会の開催	①農業者等との意見交換会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 地区別意見交換会の開催(7地区 R4.11月～12月実施) ②関係機関と連携した農業労働力の確保対策の検討 <ul style="list-style-type: none"> JA北ひびきとコントラクター協議会設立に関する情報交換を行った。 ③大和牧場の効率的な運営などの検討 <ul style="list-style-type: none"> 牧区管理の改善に向けた従業員研修会の開催(R4.6.27) 運営管理改善に向けた他地域先進農場の視察(R4.7.11-12) ④酪農ヘルパー運営組織との連携 <ul style="list-style-type: none"> 北ひびき酪農ヘルパー利用組合への事業費助成 	引き続き、地区別意見交換会のなかで情報交換に努める。	A	
			②関係機関と連携した農業労働力の確保対策の検討 <ul style="list-style-type: none"> JA北ひびきとコントラクター協議会設立に関する情報交換を行った。 	動向に注視する中、引き続き関係機関と連携を図っていく。	A	
			③大和牧場の効率的な運営などの検討 <ul style="list-style-type: none"> 牧区管理の改善に向けた従業員研修会の開催(R4.6.27) 運営管理改善に向けた他地域先進農場の視察(R4.7.11-12) 	放牧実績の精査による改善効果の検証が引き続き必要。	B	
			④酪農ヘルパー運営組織との連携 <ul style="list-style-type: none"> 北ひびき酪農ヘルパー利用組合への事業費助成 	引き続き経営基盤の安定に向けた取組を推進する。	A	

第4次 士別市農業・農村活性化計画(令和4年度～令和7年度)における推進事項や主な取り組みに関する評価

資料2

項目	推進事項	主な取り組み《令和5年2月1日時点における実績又は見込み》	今後に向けた課題・改善点など	事業評価	備考 (主な関連事業)		
人づくり	3 多様で安定的な経営体の育成	① 経営の多様化・担い手への農地集積・集約化 ・6次産品等の販売・PRの推進を図ります。 ・人・農地プラン等に基づき、担い手への農地流動化を円滑に進めます。 ・優良農地の確保と計画的な土地利用を推進します。	①農畜産物や加工品等のPRのため、士別市産直マップの作成や市ホームページの活用、通年販売に向けて「まちなか交流プラザ」などと連携 ・ 令和4年度版産直マップを作成し、市ホームページでの公表や各出張所などに配置した。 ②地域での話し合いに基づいた人・農地プランの見直し ・ 地区別意見交換会の開催(7地区 R4.11月～12月実施) ③農業振興地域整備計画等の適切な運用 ・ 申出があった用途変更や除外の地番について、適切な処理を行った。	引き続き、産直マップを作成し、加工品等のPRを行っていく。 基盤法等の改正に伴い、令和7年3月31日までに人・農地プランから地域計画に移行しなければならないことから、次年度より具体的に協議を行っていく。 引き続き、適切な処理を行っていく。	A A A		
		1 農業・農村の有する多面的機能の維持	① 農業等の共同取り組みの推進 ・ 中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金等を活用し、各地区の集落や活動組織が主体的に取り組む農地の保安全管理や環境形成活動等の共同取り組みを推進します。	①中山間対象農地の耕作放棄の防止等を図るため、士別市集落及びあさひ集落の共同取り組みを支援 ・ 中山間農業・農村活性化事業の実施 ・ 農業生産活動等の体制整備に向けた活動等の集落マスタープランの将来像を実現するための活動の実施 ・ 水路、農道等の維持・管理等集落の共同取組活動の実施 ・ 農用地の維持・管理活動の実施 ・ 対象農用地総面積 10,549ha ・ 交付総額 226,449千円 ②多面的機能支払交付金を活用し地域資源の保全を図るため、各地域の活動組織への支援 ・ 対象農用地総面積 10,549ha ・ 交付総額 226,449千円	集落で行われている共同取り組み活動について、引き続き支援を行う。 いずれの活動組織も遊休農地発生防止のため、水路、農道、法面の草刈など、農地の保安全管理や環境形成活動を実施している。	A A	・中山間地域等直接支払交付金事業 ・多面的機能支払事業
			2 経営改善の取り組み	① GAP(農業生産工程管理)の推進 ・ 生産管理の「見える化」を進め、効率性や農作業時の安全性等に繋がる基本的なGAPへの理解度向上に向けた取り組みを推進します。	①関係機関と連携したGAP基本講座の開催や周知 ・ 7/20 剣淵町、和寒町と連携し、上川農業改良普及センター職員を講師に招き、各市町で研修会の実施 士別会場は11名参加 ・ R4年度から新たに「みどりのチェックシート」を実施 17戸実施	研修会の開催時期を種子の播種前(約2か月前)に開催できるよう関係機関と連携を図る。	A
3 経営参画と意識の向上	① 家族経営協定の推進 ・ 家族全員がお互いを尊重して対等な立場で、農業経営面や生活面を話し合う家族経営協定を推進します。	①各関係機関と連携し、引き続き家族経営協定の周知 ・ 農業委員会広報誌「農業士別」において周知 (令和4年8月15日号) ・ 令和4年度協定件数 1件	引き続き、農業委員会と連携を図りながら周知を行っていく	A			
土づくり	1 農作物の安定生産	① 輪作体系及び環境保全型農業の確立 ・ 根菜類・野菜・緑肥作付けによる輪作体系の確立を推進します。 ・ 土壌分析による施肥設計や化学肥料・化学合成農薬を低減するなど、地球温暖化防止等の取り組みを推進します。 ・ 耕畜連携などによる地域資源循環を推進します。	①寒冷地域での輪作体系上、欠くことのできないてん菜・馬鈴薯の生産振興 ・ 甜菜作付振興事業 14,632千円 補助 ・ 種子馬鈴薯採取圃設置事業 874千円 補助	甜菜は、交付金単価の見直しや肥料の高騰などにより、作付面積の減少が懸念されることから、引き続き、各関係機関と連携する中で作付け振興を推進していく。 種子馬鈴薯は、市内で馬鈴薯作付け分の種子が十分に確保できていないことから、引き続き、各関係機関と連携する中で作付け振興を推進していく。	A	・甜菜作付振興事業 ・種子馬鈴薯採取圃設置事業 ・環境保全型農業直接支援対策事業	
			②経営所得安定対策等直接支払交付金の活用 ・ 交付総額 5,510,691千円(年明け数量払除く)	水田活用交付金見直しに伴う畑地化推進事業を適切に活用しながら、継続して支援を行っていく。	A	・中山間地域等直接支払交付金事業	
			③環境保全型農業直接支援交付金を活用したクリーン農業の推進 ・ 実施面積 271.72ha ・ 交付総額 16,645千円	取り組む農業者が年々減少しているため、本事業を更にPRする必要がある。	A		
			④中山間地域等直接支払交付金を活用した堆肥利活用の推進 ・ 堆肥施用事業の実施(中山間農業・農村活性化事業) ・ R4実績:22,147.35t	運送業者が限られており、繁忙期に依頼した場合、堆肥を届ける時期が遅くなる事が懸念される。	A		
			⑤地域資源循環システム構築に向けて関係機関と検討 ・ 市内堆肥製造業者と機器更新に関する情報交換等を実施。(2件)	動向に注視する中、引き続き関係機関と連携を図っていく。	A		

第4次 士別市農業・農村活性化計画(令和4年度～令和7年度)における推進事項や主な取り組みに関する評価

資料2

項目	推進事項	主な取り組み《令和5年2月1日時点における実績又は見込み》	今後に向けた課題・改善点など	事業評価	備考 (主な関連事業)			
収量アップ	1 生産基盤の整備による安定的な農作物生産の確立	① 区画整理や暗渠排水、用排水施設の計画的・持続的な整備	①道営中士別地区農地整備事業による大区画化や暗渠排水の整備等の総合的な推進 ・ 中士別第1～3地区 施工面積99.9ha	引き続き、道営農地整備事業の推進に向け、受益者の負担軽減を図っていく。	A	・農業農村整備促進費活用事業		
		<ul style="list-style-type: none"> 国や道、関係機関と連携し、引き続き土地改良事業等による生産基盤の整備を推進します。 中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金を活用し、各地区の集落や活動組織が主体的に取り組む、軽微な基盤整備や用排水路の補修等の共同取組を推進します。 集中豪雨の激甚化や頻発化に対応するため、農業水利施設の適正な管理を支援します。 	②中山間地域等直接支払交付金を活用し、士別市集落及びあさひ集落が取り組む、軽微な暗渠排水の整備等の基盤整備を支援 ・ 暗渠排水管敷設事業の実施(中山間農業・農村活性化事業) ・ R4実績:士別31, 626m、朝日3, 610m 計34, 636m	生産基盤の整備による農産物の品質・収量の向上が重要であることから今後も推進していく。	A	・中山間地域等直接支払交付金事業		
			③多面的機能支払交付金を活用し、各地区の活動組織が取り組む用水路の補修等を支援 ・ 対象農用地総面積 10,549ha ・ 交付総額 226,449千円 ・ 田んぼダムの実施	いずれの活動組織も用水路の補修や整備など、安定的な農作物生産の確立のため、実施している。	A	・多面的機能支払事業		
			④農業水利施設の適正な維持管理への支援 ・ 国営造成施設管理体制整備促進事業及び水利施設管理強化事業により土地改良区の管理体制の整備を図る経費の支援を実施。	引き続き、土地改良区が管理する農業水利施設の複雑かつ高度な操作・管理を支援していく。	A	・天塩川地区水利施設管理強化事業		
	② 作業の効率化・省力化に向けたスマート農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 農作業の効率化や省力化等に対応したICT(情報通信技術)等のスマート農業の促進に向けて、国や道、各関係機関と連携した支援を推進します。 中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金を活用し、各地区の集落や活動組織が取り組む、農作業省力化等の共同取組を推進します。 	①国や道の補助制度等を活用した支援 ・ GPSガイダンス活用面積 6,469ha ・ 水管理システムの設置(令和4年度実績:6台) ・ スマート農業促進に関する機械導入の補助事業を推進。(2件 4,380千円)	水管理システムの値上がりや当初想定していなかった自動給水栓のゴミ詰まり多発などの問題により導入を控える農業者が増えているが、引き続き、システム導入意向について農業者へ確認していく。	A	・経営体育成交付金事業		
			②中山間地域等直接支払交付金を活用し、士別市集落及びあさひ集落が取り組む、農作業省力化の取り組みを支援 ・ 法人あさひ運営補助 ・ 無人ヘリコプター等散布防除事業の実施(中山間農業・農村活性化事業) 692.37ha	農業者の高齢化、担い手不足に伴い、時間の短縮や労働力の軽減が重要であることから今後も推進していく。	A	・中山間地域等直接支払交付金事業		
			③多面的機能支払交付金を活用し、活動組織が取り組む農作業省力化の取り組みを支援 ・ 対象農用地総面積 10,549ha ・ 交付総額 226,449千円	多面的の他の取組と比べると実施している活動組織が少ないため、今後も推進していく。	B	・多面的機能支払事業		
			④各関係機関との連携によるスマート農業の推進 ・ 農業者に対して、JAと連携する中、スマート農業促進に関する国・道の補助事業の周知を図った。	引き続き、関係機関と連携した支援を推進していく。	A			
			2 農作物の栽培技術の向上・野生動物による食害防止	① 栽培技術等の普及・推進	①農作物栽培試験の実施及び成果報告会の開催、栽培試験結果をまとめた冊子の配布 ・ 水稻、畑作、園芸に関する栽培試験を実施(8項目) ・ 栽培試験に関する成果報告会(令和5年3月開催予定) ・ 栽培試験成績書をJA機関誌と合わせて配布予定(令和5年2月末700部納品予定)	成果報告会の開催時期が冬期学習会と重なってしまった。次年度以降は、日程調整含め検討する必要がある。	A	・農作物栽培試験・栽培技術向上推進事業
					②ジャガイモシストセンチュウ食物検診の実施・市民等への周知 ・ 7月20日に一部の地区で植物検診を実施した。 ・ 市HPや広報を活用し、まん延防止対策の周知を行った。	引き続き、検診を実施し、早期発見に努める。	A	
		③士別市農業応援アドバイザーの活用 ・ 市内一円のは場を対象とした、作況調査及び報告会を実施(8月)(農業委員会との共同開催)	士別市農業応援アドバイザーである田中英彦先生は、拓殖大学北海道短期大学の副学長であることから、冬期学習会のカリキュラムを大学で実施することも見据え、検討していく必要がある。	A				
		④つくも4号大豆種子の生産、市内外へのPR ・ 種子大豆の生産(作付農家1戸、作付面積0.3ha、収量630kg(調整前)) ・ 砂糖消費拡大イベントにおける販売ブースに、つくも4号を使用した菓子も同時販売(11月) ・ 商品の試作等を希望する相手方に対して、サンプルとして無償提供(2件)	・需要が少しずつ増加する中、産地として原料を安定供給することが最も重要であることから、引き続き関係機関と連携を図りながら推進していく。	B				

第4次 士別市農業・農村活性化計画(令和4年度～令和7年度)における推進事項や主な取り組みに関する評価

資料2

項目	推進事項	主な取り組み《令和5年2月1日時点における実績又は見込み》	今後に向けた課題・改善点など	事業評価	備考 (主な関連事業)
収量アップ	2 農作物の栽培技術の向上・野生動物による食害防止 ② 鳥獣による食害防止 ・各関係機関と連携し、鳥獣による食害防止を実施します。 ・各関係機関と連携し、捕獲従事者担い手対策を推進します。	①中山間地域等直接支払交付金の活用(エゾシカ) ・ エゾ鹿等簡易防護柵設置事業の実施(中山間農業・農村活性化事業) ・ 新規4,838m 更新15件	近年多発するエゾ鹿等の食害を防止するため、引き続き推進していく。	A	・中山間地域等直接支払交付金事業
		②国の補助事業を活用し、緊急捕獲活動を実施(エゾシカ) ・ 1月末時 約1,000頭捕獲(計画頭数1,200頭)	・捕獲従事者の担い手確保	A	・有害鳥獣被害防止対策事業
		③箱わな捕獲(ヒグマ) ・ 箱わな5頭捕獲 ・ 10箇所設置	・捕獲個体が箱わなに入ったものの、檻を曲げられ脱出されたケースがあるため、箱わなの更なる補強を検討していく必要がある。	A	
		④捕獲者に対する奨励金制度の活用(ヒグマ) ・ 28頭捕獲(内、箱わな捕獲5頭) ・ 1,400,000円交付(50,000円/頭)	・捕獲従事者の担い手確保	A	
		⑤春捕獲の推奨(アライグマ) ・ 4月～6月:82頭捕獲(参考…R3.4月～6月捕獲頭数:46頭) (R3年度捕獲頭数201頭、R4.1月末時捕獲頭数267頭)	・使用回数で損傷してしまう箱わながあるため、損傷した箱わなの修繕(直る見込みのあるもの)、損傷防止のための補強が必要である。	A	
		⑥狩猟免許取得費用の支援(鳥獣全般) ・ 実績なし(助成に係る周知については、ホームページに掲載済)	・捕獲従事者の担い手確保、周知方法	C	
		⑦鳥獣被害対策実施隊による一斉捕獲(エゾシカ) ・ 2月12日、19日、26日 実施予定		A	
3 収益力・生産基盤の強化による畜産経営基盤強化	① 規模拡大・施設更新・家畜伝染病対策の推進 ・畜産(酪農・肉牛・養豚・馬・鶏・めん羊)農家の規模拡大・施設更新に向けた取り組みを推進し、生産基盤の強化を目指します。 ・畜産農家の家畜伝染病予防対策意識向上を目指した取り組みを推進します。	①畜産クラスター事業等を活用した施設整備及び機械導入の推進 ・ 国庫補助事業を活用した子実用とうもろこし収穫機械導入の支援(R4年度) ・ 関係機関と連携した畜産クラスター計画記載事業の進捗状況確認	飼料費・資材費等の高騰により各種事業の活用が難しくなりつつあるため、様々な方法により酪農・畜産農家の経営基盤強化に取り組む必要がある	A	・畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業
		②サフォーク種めん羊生産基盤整備事業等を活用した施設整備及び機械導入の推進 ・ R4年度 補助実績無し ・ 今後の事業活用に向けた新規就農に関する協議の実施	畜産情勢の悪化により規模拡大・新規就農が難しい情勢であるが、「羊のまち士別」推進のため引き続き取組を推進する	B	・予防注射事業
		③飼養衛生管理基準の遵守に向けた指導体制の強化 ・ 飼養衛生管理基準に関するリーフレットの配布(R5.1) ・ 必要に応じた家畜伝染病等に関する情報提供	引き続き酪農・畜産農家の防疫意識向上に向けた取組を推進する	A	・めん羊振興事業
② 自給粗飼料生産拡大の推進 ・各種事業を活用し、自給粗飼料生産基盤の強化を図ります。	①草地畜産基盤整備事業の推進 ・ R4年度事業の円滑な推進(R4年度実績 44.05ha施工) ・ 事業計画期間(R4～7)内の事業計画精査・聞き取りの実施	事業目的である「自給粗飼料基盤の改善」に向けて、引き続き円滑な事業運営を進めていく	A	・畜産担い手総合整備事業	

「持続可能な生産体制の確立」を達成するための数値目標

目標	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
		目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
新規就農者確保数	延:20人	5人	6人	5人	5人	5人
排水性向上対策(暗渠施工延長)	延:220,000m	55,000m	34,636m	55,000m	55,000m	55,000m
土づくり対策(堆肥・緑肥施用面積)	延:9,200ha	2,200ha	1,107ha	2,300ha	2,300ha	2,400ha
GPSガイダンス活用面積	延:23,760ha	5,730ha	6,469ha	5,870ha	6,010ha	6,150m

評価項目	評価事業数	割合
A評価	45	90.0%
B評価	4	8.0%
C評価	1	2.0%
D評価	0	0.0%
合計	50	100.0%



令和5年度 農林業関連予算概要



【令和5年2月】

【農業振興課所管】

1	「農業農村担い手支援事業」 ・農業の担い手の確保と育成を図るため、農業・農村担い手支援規則に基づく支援を行う。	予算額 6,445千円
2	「農作物栽培試験・栽培技術向上推進事業」 ・JA北ひびきへの委託で、展示圃、実証試験圃を設置し、水稲・畑作・園芸等の各種試験を行い、生産者へ新品種や新栽培技術の普及指導等を図る。 ・つくも4号の特産品化に向けた普及推進を図る。	予算額 2,189千円
3	「グリーンパートナー推進事業」 ・農業後継者の配偶者確保対策として、市、農業委員会及び農協のJA北ひびきのもと、独身女性との交流の場を設け、結婚に対する意識高揚を図る。	予算額 717千円
4	「農業次世代人材投資事業」 ・次世代を担う農業者となることを志向する者に対して、国の新規就農者育成総合対策による農業次世代人材投資事業を活用し、担い手の確保・育成を図る。	予算額 12,450千円
5	「平成30年湿害等農業対策事業」 ・平成30年の湿害等で被害を受けた農業者が、経営の再建や減少した収入の補填のため、JA北ひびきから借り入れた資金の利子助成をする。	予算額 29千円
6	「令和3年干ばつ等農業対策事業」 ・令和3年の干ばつ等で被害を受けた農業者が、経営の再建や減少した収入の補填のため、JA北ひびきから借り入れた資金の利子助成をする。	予算額 29千円
7	「甜菜作付振興事業」 ・寒冷地域の基幹作物である甜菜の安定的な生産振興を図る。	予算額 20,277千円
8	「種子馬鈴薯採取圃設置事業」 ・寒冷地域の基幹作物である馬鈴薯の安定的な生産振興を図るため、種子馬鈴薯の生産を支援する。	予算額 960千円
9	「経営所得安定対策推進事業」 ・士別市農業再生協議会へ助成等を行い、経営所得安定対策事業の円滑実施に努める。	予算額 2,291千円
10	「中山間地域等直接支払交付金事業」 ・農業振興地域内の急緩傾斜農用地をはじめ、市内全体の農業生産基盤の向上と農村集落が持つ多面的機能の保全を図るため、国が実施する制度に基づき、交付金を交付する。 (士別市集落 155,194千円、士別市あさひ集落 60,754千円、事務費 142千円)	予算額 216,090千円
11	「多面的機能支払事業」 ・多面的機能支払交付金制度を活用し、地域の集落組織の活動を支援することで、農地や施設等の保全に努める。 (多面的機能支払交付金 227,145千円、事務費 1,800千円)	予算額 228,945千円

【続・農業振興課所管】

12	<p>「環境保全型農業直接支援対策事業」 予算額 28,280千円</p> <p>・環境保全型農業直接支援交付金制度を活用し、土づくりの推進と化学肥料・化学合成農薬を低減したクリーン農業を推進する。</p> <p>(環境保全型農業直接支援交付金 27,980千円、事務費 300千円)</p>
13	<p>「農業農村整備促進費活用事業」 予算額 137,275千円</p> <p>・道営農地整備事業の推進に向け、促進費活用型パワーアップ事業を活用し、農家の負担軽減を図る。</p> <p>(対象地区：中士別第1地区、第2地区、第3地区、事業期間：平成27年～令和11年)</p>
14	<p>「天塩川地区水利施設管理強化事業」 予算額 46,323千円</p> <p>・土地改良区が管理する農業水利施設の複雑かつ高度な操作・管理を支援し、集中豪雨等に対する多面的機能の発揮を図る。</p>

【畜産林務課所管】

1	「畜産担い手総合整備事業」 ・畜産担い手総合整備事業による基盤・施設整備を行う。	予算額 14,560千円
2	「酪農ヘルパー推進補助事業」 ・酪農家の病気、事故、余暇等の時間を確保し、酪農経営の円滑化を図る。	予算額 2,457千円
3	「市営牧野整備事業」 ・士別市営牧野大和牧場の機械整備及び草地等の整備を実施し、放牧飼養管理の向上を図る。	予算額 5,545千円
4	「愛媛県立農業大学校受入交流事業」 ・愛媛県立農業大学校の農業実習生の受入を行う。	予算額 130千円
5	「有害鳥獣被害防止対策事業」 ・有害鳥獣による農作物、人的被害防止対策、捕獲従事者の確保・育成を図る。 (エゾシカ、ヒグマ、アライグマの捕獲・駆除)	予算額 14,030千円
6	「めん羊振興事業」 ・めん羊生産基盤の確立や羊肉ブランド力向上、新規飼養者の確保等により、経営の安定化を図る。 ・羊肉ブランド化の強化（G I 登録の推進） ・サフォーク種めん羊飼育者育成確保事業 外	予算額 11,567千円
7	「森林整備担い手対策推進補助事業」 ・森林作業員の育成、担い手確保により林業の活性化を図る。	予算額 650千円
8	「豊かな森づくり推進事業」 ・私有林等の植栽を推進し、森林資源の循環及び多面的機能の発揮並びに地域の振興を図る。	予算額 10,260千円
9	「森林整備促進事業」 ・「森林環境譲与税の活用に向けた基本方針」に基づき適切な森林整備を促進する。	予算額 35,755千円
10	「森林環境保全整備事業」 ・市有林の健全な維持造成を図り、森林資源の充実と山村地域の振興に資する。	予算額 22,205千円